

月光

愛知県立芸術大学 美術学部
デザイン工芸科・陶磁専攻4年

銅の特徴から着想を得た鏡台

吉田 風音



丁寧に手入れをすれば何年、何十年も朽ちることなく美しく経年劣化していく「銅」
持ち主と共に歳を重ねるほど美しく変化し 母から子へ、そしてその先へ、受け継ぎたいくなるような
鏡台をデザイン。



鏡のモチーフは月であり、月が太陽の光を受け存在感を放つ様子から、映すものがあってこそ役割を果たす鏡の存在意義に共通点を見出した。上記の共通点から今回のプロジェクトで制作するデザインのモチーフを決定した。

重ね合わせ天板の上面は鱗目で凹凸があり、水面を表現している 鏡の下にくる部分に鏡面仕上げを施し、
月が水面に写っているようなデザインになっている。